

令和六年度 事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

- ・バリアフリーではないが不自由はしていない
- ・曜日によっては手狭な日がある
- ・オーナーの方に協力を得てイベントを開催している

B：児童への支援

- ・外での経験・体験が多い
- ・学習・カリキュラムの内容が充実している
- ・検定を受けることができる

C：関係機関との連携

- ・療育センター等の関係機関とは情報を共有している
- ・送迎時に学校とのやり取りなどもある
- ・地域の方々との関りがある

D：非常対応

- ・防犯・感染予防等の各種マニュアルがある
- ・送迎時などの対応について再確認が必要

E：保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時、連絡帳、面談、電話等で子供の様子を共有している

保護者による自己評価

A：環境面

- ・指導員の人数がわからない
- ・子供も楽しそうに通所している

B：児童への支援

- ・様々な経験・体験ができる
- ・勉強を一緒にしてくれる
- ・外にも連れて行ってくれる

C：事業所からの情報発信

- ・連絡帳で日々の様子を伝えてくれる
- ・日常の子供たちの姿を見たい
- ・送迎時に伝達してくれる

D：非常対応

- ・避難訓練の実施状況がわからない

事業所内での分析・検討

事業所の強み

- ・毎日の通所でも、利用時間が長い日でも楽しめる環境・イベントがある
- ・多くの子供が通所を楽しみにしている
- ・日々の学習時間

事業所の改善点

- ・避難訓練の実施状況説明が不足している
- ・カリキュラムの内容を定期的に見直す
- ・保護者への情報共有をより充実させる

事業所内での取り組み

- ・避難訓練に実施報告をわかりやすくする
- ・カリキュラムやイベントの内容の見直しを定期的に行う
- ・学習への取り組みの強化
- ・指導員・保護者との情報共有の徹底